

低炭素社会の実現へ...

環境など

住宅用太陽光パネル補助金復活!

国は、中止していた住宅用太陽光発電補助を、3年ぶりに復活させました。本市でも住宅用太陽光発電システム補助の復活を考えるべきです。

三田市では、平成14年度から4年間、補助を行っていた。世界的な低炭素社会の創造に向けて、国では21年度から住宅用太陽光発電システムの補助制度が復活しています。地球温暖化防止対策において、太陽光発電システム導入は重要な効果的であることから、市としても補助制度の導入を行います。

段ボールコンポストモニター募集へ

市は家庭ごみを10%減量する目標を掲げています。多くの市民がごみ減量に参加できるように段ボールコンポストを補助金の対象とさせていただきます。家庭ごみ「10%減量」大作戦を達成するには、市民の皆さんの協力が重要です。特に、家庭の生ごみを段ボールコンポストを活用して堆肥化することも有効です。モニターが市民の皆さんに定着するかどうか、モニターを募集して、意見を募集します。そのうえで補助するかどうかを判断したいと考えます。

ごみ袋の卸業者 1社だけでは...

ごみ袋の流通は同じ業者に長年契約しています。コスト改善をどのように考えていますか。

指定ごみ袋は、市外のごみを持ち込まれないように、現在市内の業者に限って販売しています。また、流通についても、安定的に市民の皆さんに供給するため、在庫管理や納品・販売実績がある業者と契約しています。コスト削減につながる流通システムを今後研究します。

ペットのふんにイエローカード

地域で問題となっている「犬のふん」放置を防止する対策として、他市で実施されているイエローカードを導入しては?

マナーの悪い飼い主によるふんの放置は、衛生上や景観上も問題です。イエローカードは、一部のみで自治会などが主体となって取り組んでおられる対策です。これは、ふんの放置は許さないという地域の姿勢を飼い主に認識させる心理に訴えることで、大きく件数が減少したという報告もあります。本市でも市民の皆さんの協力を前提に景観の観点からも検討していきます。

議員の質問

(一般質問)

一般質問とは、市政について、疑問点や将来の方針を議員が幅広く質問することです。

6月定例会では、15人の議員が質問にたちました。

市内経済の活性化は?

雇用税

花火大会やるからにはしっかりと取組む

三田まつり花火大会の予算的見直しは? 景気低迷などで花火大会はいったん休止を決定しましたが、その後多くの市民の皆さんによる募金活動の声があり、市民主役のまつりとして花火大会を実施することにしました。資金集めは、街頭募金活動や公共施設に募金箱を設置するなど市民の皆さんにも協力をお願いしています。花火大会を実施する以上はしっかりと取組むをして子どもたちが、ふるさとを思う心を大切にできる、心に残る花火大会にしたいと思えます。



農業の若き担い手の確かな支援を実施

このままでは、市内の農業は衰退してしまふ。若手担い手育成について考えは? 農業で生計をたてたいという意欲ある若者には、就農に向けた確かな支援が、そして新たに農業を目指す方々にも必要です。就業支援については、県が設置する「ひょうご就業支援センター」などで助言や技術的指導が受けられます。また、

市内では、本年度内にJAが基本的な就業相談窓口を開設する予定になっています。市として、この相談所の取組みを支援します。

零細業者優先の公共事業発注を

市内経済の活性化対策として、市内業者で市に入札資格のない零細な業者に小規模な公共工事・修繕を発注する制度を取り入れてはどうですか。近年、経済情勢が厳しいことから、公共事業も発注件数が大幅に減少しています。市が大幅に減少している事業者も、受注の機会が減っています。そのため、市の入札参加資格とは別に、小規模な工事・修繕を優先的に零細業者に発注することは、公平な受注機会の確保の点など、問題も多く、導入できないと考えています。

不況の今、市税の軽減を

厳しい経済状況の中では、市税の軽減措置がないと滞納対策が進みません。税の軽減を考えたのですか。市民税の減免は、生活保護受給者のほか、災害によって特別の事由がある場合に行っています。市民税は、前年の所得について翌年課税されるので、現年に生活状況が変化することも考えられます。

新規学校卒業業者の積極採用を要請

テクノパークにおける優遇税制を受けている企業の就労実態調査と対策を求めます。地域経済の発展に寄与することを目的として条例に基づきテクノパーク全体43企業のうち、12企業に対して、税の優遇措置を講じています。事業者に対してテクノパーク企業協議会と連携しながら、雇用の実態なども含め就労実態調査を進めます。

フラワータウンを活性化するには

フラワータウンを再活性化するため、市は何らかの施策的な取組みをするべきです。フラワータウンは、高齢化や生活スタイルに合わせて商業施設をはじめ生活利便施設の再配置について研究を進めていく必要があります。すでに再活性化のために再整備した他都市のニュータウンの事例を参考にしていきます。また、土地の活用などを含めて、開発者である兵庫県、そして地域の皆さんとも十分調整を図って、フラワータウンの活性化に取り組めます。

子どもに輝く未来を教育

23年度に教育振興計画を策定

教育関連法の改正に市教委としてどのような方針で対応していきますか。また、教育振興基本計画を早くつくる必要があると思いませんか。教育基本法の改正により、新しい時代の教育の基本理念が明確になりました。その理念を具体化していくため、教育振興基本計画を策定することが求められ、本市は平成23年度の策定を目指しています。また、本市では、学校間の円滑な連携、教員研修、理数教育の充実、道徳教育の充実、伝統や文化の継承、小学校外国語活動の推進などを重点課題としています。

川本幸民にちなみ 科学の心を学ぶ

三田を全国的にPRするため、すぐれた功績の学生に向けた、三田ゆかりの白洲次郎川本幸民にちなんだ賞を本市で創設してはどうか。白洲賞が設立されている。白洲賞が設立されているため、創設は困難を伴います。また、三田の教育の重点課題として「理数教育の充実」を掲げています。日本における化学の祖である川本幸民の功績とその「科学の心」を学ばせるため、子どもたちに科学の楽しさと川本幸民への想いをより実感できる機会を検討していきます。

小学校と中学校 学びの接続をスムーズに

小中一貫教育について市の考え方は? 本市では、保幼小中11年間を見通した連携を重点として取り組んでいます。具体的には、中学校区単位で教育内容や指導方法について教師間の連絡会を行い、共通理解をはかっています。また、英語や数学、理科では、中学校教師の専門性を生かした小学校での出前授業などを行っています。さらに「英語教育」についても、これまで小中分けて配置していたALTを小中共通とすることにより、さらなる連携の強化を進めます。

学校の学習環境を改善

夏場の子どもたちの学習意欲を保つため、学校教室の実態を調査し、エアコンや扇風機を設置してはどうか。夏場の子どもたちの健康や学習環境の管理には、より注意を払っていきます。そのため、学習環境の改善については、各学校と話し合いながら、来年度の設置を考えています。

質問議員(質問順)

関口正人(創世会)	肥後淳三(新政みらい)	野上和雄(民主党三田)
松岡信生(公明党)	城谷恵治(日本共産党)	福田秀章(盟友会)
平野菅子(公明党)	中田初美(日本共産党)	美藤和広(民主党三田)
坂本三郎(無会派)	酒井一恵(創世会)	三木圭恵(新政みらい)
長谷川美樹(日本共産党)	笠谷圭司(創世会)	前中敏弘(創世会)



さまざまな課題

保健院など

インフルエンザ行動計画 現実的なものに

秋以降の再発や毒性の変化を想定した対策を市はどのように考えていますか。新型インフルエンザ流行に対して、本市は、強毒性の鳥インフルエンザを想定した行動計画を用いて緊急的に運用しました。現在、秋の第二波に備えて各課において検証しています。特に発熱相談や専用外来などの対応については、県や医師会と連携してウイルスの毒性を踏まえた行動計画を早急につくりたいです。

市民病院の再生は 看護師の離職防止から

市民病院再生に向けて、看護師の離職防止対策について、病棟アシスタントの増員や運出勤務の導入、教育支援看護師の配置などの取組みを行っています。また、病後児保育を実施するほか、可能な病棟での2交代制の試行や育児短時間勤務制度の導入、超過勤務の削減に向けた看護業務の見直し、キャリアアップのための研修制度の充実などの取組みを進めます。

市内で回復期のリハビリができる

市民病院で回復期までのリハビリができるように改善できるといいですね。市民病院は、急性期の病院であるため回復期のリハビリ機能を持っていません。また、

DV被害者に対する 定額給付金等の支給を!

DV被害を受けて避難している方へ定額給付金を支給できるように検討しては。市内には回復期のリハビリ病院はなく、患者さまやご家族にご負担をおかけしています。先ごろ市内の病院が回復期のリハビリ病院としての要件が整いました。今後は、地域の身近な病院で回復期のリハビリを受けただけのよう連携していきます。

DV被害者に対する 定額給付金等の支給を!

DV被害を受けて避難している方へ定額給付金を支給できるように検討しては。市内には回復期のリハビリ病院はなく、患者さまやご家族にご負担をおかけしています。先ごろ市内の病院が回復期のリハビリ病院としての要件が整いました。今後は、地域の身近な病院で回復期のリハビリを受けただけのよう連携していきます。

市民が自主的な運営を 公民館

市民から批判的な意見が出ている公民館の今後の運営方針は。運営の基本的な方針は、公民館登録グループが自分たち

の活動のために開催している役員会やその発表の場である「公民館まつり」などは、自ら主体的に行っていたことが望ましいと考えています。公民館の運営面では、社会教育施設としての公民館事業を検討するため、近く、市民登録グループなどで構成する会議を設け、意見をお伺いし、市民の皆さんの公民館として充実させたいと考えています。

天皇陛下ご即位20年
天皇陛下は、本年1月に即位20年を迎えられました。本市としても慶祝行事に参加してはどうか。
天皇陛下ご即位20年にあわせて、国からも祝賀の機運を高めるため各自治体に取組みの通知が出ています。現在のところ、兵庫県や県下各市では、特に慶祝行事などの取組みの予定もなく、本市も特に予定していません。今後の県や近隣都市の動向にも注視して対応を検討していきます。

外国人市民にも 地方参政権を
本市の多文化共生の方針はどのようなものですか。また、定住外国人市民の地方参政権の問題をどう考えていますか。
多文化共生推進基本方針は、外国人市民も日本人市民も同じ市民として、互いの人権を尊重しあい、また、国籍や民族などの違いを認めあい、共に安心して暮らすことができる多文化共生社会の実現をめざすものです。また、同じ市民として、外国人市民の考えや思いをまちづくりに反映させることは大変重要です。そのため、周辺の市町と連携して地方参政権の実現に向けて働きかけます。